# 『プラスチックより透明な爆弾』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

## ■アンケート調査概要

| | |
|---|---|
| 調査目的 | 『プラスチックより透明な爆弾』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査 |
| 調査対象 | 『プラスチックより透明な爆弾』を読んだことのある20代～50代の男女18名 |
| 調査期間 | 2025年5月17日～2025年5月18日<br>2025年10月10日～2025年10月11日<br>2026年1月5日～2026年1月6日<br>2026年3月18日～2026年3月19日 |
| 調査方法 | インターネット調査 |
| モニター提供元 | ランサーズ |
| データ使用サイト | https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/plasticyoritomeinabakudan/ |

## ■アンケート項目

Q1：年代と性別を教えて下さい。
Q2：『プラスチックより透明な爆弾』を実際に読んだ評価を5段階で教えて下さい。
Q3：『プラスチックより透明な爆弾』を実際に読んだ感想を教えて下さい。

### Q1：年代と性別を教えて下さい。

| | |
|---|---|
| 20代男性 | 1人 |
| 20代女性 | 0人 |
| 30代男性 | 4人 |
| 30代女性 | 5人 |
| 40代男性 | 3人 |
| 40代女性 | 2人 |
| 50代男性 | 2人 |
| 50代女性 | 1人 |

## Q2:『プラスチックより透明な爆弾』を実際に読んだ評価を5段階で教えて下さい。

～～作品の5段階評価について～～
★★★★★（とても面白かった）：絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい
★★★★（面白かった）：漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。
★★★（普通）：面白いとも面白くないとも言えない。
★★（面白くなかった）：あまり好きではない描写や要素があった。
★（全く面白くなかった）：読んでいて不快・退屈だった。

| | |
|---|---|
| ★★★★★ | 7人 |
| ★★★★ | 10人 |
| ★★★ | 0人 |
| ★★ | 1人 |
| ★ | 0人 |

## Q3:『プラスチックより透明な爆弾』を実際に読んだ感想を教えて下さい。

| |
|---|
| 入学式で出会った独特のオーラを放つ暮井さんのことを、いつしか目で追うようになっていた瞳が、屋上にいる彼女を見つけ、二人きりのときだけ話したり、メッセージでだけ連絡を取る関係に発展していくところが素敵でした。王道の価値観ではなく、レアな価値観が似ている二人がある日学校をサボって海に行き、暮井さんからのキスに夢か現実かわからないまま堕ちて行くところがよかったです。 |
| 見ていて感じたのは、ヒロインの異常性で暮井が男性の気を引く行動そのものが文学的な要素があり、表現がかなり抽象的ではっきりとした言い方をしていないから、男性主人公はヒロイン側の好意というのを勘違いして受け取ったのだと思えました。だから、主人公がヒロインの裏の顔を知るシーンもどこか抽象的な感じで、ヒロインの良い面、悪い面を受け入れたことが最後のシーンに繋がるのだと、ヒロイン側の精神の安定につながったのだと見えました。 |
| 入学式の日に「おもちゃを手にした女子生徒」になんとなく目を奪われた主人公の瞳という冒頭の出だしが個人的には好きです。ヒロインの暮井も思春期にありがちな中二病的な性格をよく落とし込んでいると思います。この二人が繰り広げる不思議な世界観の作品を単純な青春モノ作品ではなく、大人向けの作品として描いているのが本作品の特徴ではないでしょうか。 |
| この漫画は読みながらずっと不思議な緊張感があって、でもどこか綺麗で静かな感じが印象的でした。登場人物たちの会話や表情に含まれる“言葉にならない何か”がとってもリアルで、読んでるこっちの心にもじわっと染みてきます。タイトルの意味も、読み終わったあとにじんわり伝わってくる感じで、「ああ、そういうことなのか」ってひとりで納得してしまいました。日常の中の静かな爆発、そんな作品です。 |
| 他の漫画では味わえない、独特な世界観です。絵自体も、このジャンルではあまり見かけないタイプの線だと思います。本当に表現方法が独特で、一度読んだだけでずっと記憶に残ってしまうような作品。瞳と暮井の化学反応のようなものも面白いです。ある意味でアートのような感じで、ストーリーも楽しく読めました。好みが分かれる作品かもしれませんが、個人的には非常におすすめしたいです。 |
| まず女の子キャラクターが可愛い。相手の男の子も透明感があって邪魔をしていない。内容は学生恋愛の成人版といった所だが、作中では女の子の体を抽象的に描かれている所と生々しい所のバランスが取れていて読みやすい。だいたい10代のティーンの読者層向け作品だと思うが、年代を重ねても恋愛物として退屈なく読めると思う。 |
| オトナ系の漫画だからこそできる表現をうまく使った漫画だと思います。個人的な感想としては、詩的な漫画と |

いうのが感覚として正しいかと。ヒロイン暮井さんの独特な魅力が光る作品なのですが、実は主人公の紡ぐ言葉もとても美しいんですよね。心の声が、まるで詩集を読んでいるかのような心地よさにさせてくれる、とても不思議な作品です。

ずっと何を考えているのかわからない、ミステリアスなヒロインがこの作品の魅力ではないかと思っています。主人公はそんなヒロインを気にかけていくうちに、自分の中の気持ちもどんどん変化していくところも結構良かったです。この作品は話の展開がどっちに進むのか全然予想できない面白さがあり、その中で主人公たちの関係性の変化が良いアクセントになっていました。

暮井という女子生徒がこの作品に出てくるのですが、この暮井の持つ不思議な世界観に飲み込まれそうになりました。彼女は見た目からしても不思議ちゃんな感じがするのですが、行動や言動もつかみどころがなくて、主人公を翻弄していきます。ストーリー展開も他のマンガでは見たことがないような斬新さがあり、最後まで楽しむことができました。

ギリシャ神話のペルセポネが冥界の食べ物を口にすると地上に戻れなくなるという話になぞらえ、主人公がポテトチップスを食べた指を暮井が舐めたのはドキドキしたのと同時に大きな意味を持っていました。数日後、海へ行って二人きりになり、暮井から食べてと言われて主人公が吸い付いた時、地上に戻れないペルセポネのように、二人が戻れない関係になるというストーリーの深さを感じました。

ただ学校の屋上でさけるチーズを食べているだけ。それだけでなぜか目が離せない。漫画の中のヒロインって大きな目で心惹かれるものがありますが、こちらの作品のヒロインは特に目力がすごいですね。なんとも不思議な世界。彼女はどうしてここにいるのか。チーズって要冷蔵なのでは。学校に持ってくるって、悪くならないのかななんてのも思っちゃいました。

すごい。芸術的表現と、男女の営みがバランスよく描かれています。内容がシュールレアリスムみたいな雰囲気で、しかし青春モノ。どこで終わるのこの物語は？とドキドキと心配、どっちも抱えながら読み終わりました。いわゆる青春あるあるな、ちょっと意識高い系を感じさせるのはおそらくわざとやっていますね。この作風、人はかなり選ぶと思います。

よくわからないけれど、心惹かれるものありますね。少年がついつい見とれてしまうのもわかる。イラストもうまいのか下手なのかどちらともいえないライン。この作者さんならではの絵で、幻想的なような恐ろしいような。なんともとらえどころのない作品でした。これだけで一つのジャンルが確立している。少年もなんだかいい感じ。

ださけるチーズを食べてるだけですよね。屋上で。それだけなのになんかそれ以上のものが伝わってくる。ほんわかとした感じのイラストながら、そこからそういう場面へと移行していくのにまったく違和感がない。このヒロインの過去や未来も見てみたい。少年はもうロックオン。他の女性が目に入ることってもうないでしょうね。

以前かなり話題になってましたが、読後感がすさまじいです。いちばんインパクトがあったのは、例の大量のシーンですが、それ以上に擬音がこだわりを感じます。マンガだからこそできる表現が多く、そこも評価しておきたい点。結局最後、オチは解釈に委ねられるようなところもあって、わかりやすい終わり方ではありません。そこが個性かと。

これぞ目力というものなのでしょうね。こんな目で見つめられたら。もうそりゃ逃れられるはずがないですよ。まさかのさけるチーズが出てきたり、不思議ちゃんです。制服がちょっとかわいい。こんな襟の制服、あったら着たくなる。イラストがかなり細かく描かれていて、んっちゅとかの擬音も面白くて、この作者目が離せない。

屋上のシーンが非常に印象的です。考察のしがいもかなりあり、たとえばザクロとか、ピラミッドの意味を考え出すとキリがないですね。もちろん実用的シーンも結構あり、男女の仲を深めて結ばれるシーンは幻想的ながらも激しい欲求も感じます。ただ芸術表現だけで終わっていないのが個人的にめっちゃ評価したいポイントでした。

この作品の魅力は、やはりヒロインであるねいどです。最初は、単なる不思議キャラという印象だったんです。でも、物語が進むにつれてそうじゃないと気付かされました。瞳がついつい気になるのもわかります。他の作品にはない、とても魅惑的な女の子だと思います。読み終わった後に、決してスッキリはしないのですがいろいろと考えさせてくれる作品です。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス